

様式3 令和4年度新座市学校評価システム学校関係者評価シート

No.1

学校名	栗原小 学校
実施日	令和5年1月17日

<記入の仕方> ○「自己評価」及び「学校関係者評価」の欄には、A～Dを記入してください。

○「自己評価についての説明」の欄には、その評価に至った理由及び自己評価の結果を学校がどのように受け止めるかを明確にしてください。

評価項目「**独自**」

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
1	学校は、元気な学校をめざし、明るいあいさつと返事を継続的に指導し、成果を上げている。	3.00 B	・職員とPTAによるあいさつ運動の取組や、校長先生が毎日門に立ち、児童へ声掛けをしているので、あいさつをしてくれる児童が多いと思われる。しかし、返事に関してはまだ課題がある。全職員が共通認識で指導していく。学校全体で継続的に取り組む。	B	・全体的にはできている。 ・できている子とできていない子の差がある。 ・コロナの影響で子供への指導、声かけが十分でない部分があったかと思われるが、今後少しずつ戻していけるとよい。 ・家庭との連携が必要。
2	学校は、主体的に学ぶ児童をめざし、学び合いのある授業や習得が実感できる授業を行っている。	3.38 B	・互いの意見や考えを伝え合ったり、ペアやグループで問題解決のために話し合ったりする場を、授業の中に取り入れることを意識して行っている。 ・高学年では、「探究的な対話」について児童と共に考え授業で実践しようと試みている。	B	・先生方の意識、個々の指導力を校内研修等で高めていって欲しい。
3	学校は、清掃指導や掲示教育をとおし、学ぶ意欲が湧くきれいな教室環境を整備している。	3.38 B	・たてわり清掃がいい機会となった。栗小のいい伝統が高学年から下の学年に引き継がれている。さらに改善点を話しあい、来年度も清掃活動を充実させていきたい。 ・自分の持ち物管理に問題あり。整理整頓の基本、ものを減らすことを実施したい。 ・掲示物の定期的な貼り替えや学びに向かう掲示など、計画的にしようと考えている。 ・学校応援団など多くの保護者の方が掲示活動に力を貸してくれている。	B	・掲示教育に力が入っていてとてもよい。 ・階段の児童作品を掲示する際に、題材名の表示だけでなく指導の意図やねらいが分かる説明があると、見る側はわかりやすいし理解が深まる。 ・清掃は、ゴミを取り切れていなかったり、ほうきの使い方が十分指導されていなかったりする様子が見受けられる。 ・ものが多くてきれいとは言いがたい。整え方を検討いただきたい。

評価項目「**組織運営**」

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
4	学校は、校務分掌や主任制を適切に機能させ、組織的な運営・責任体制を整備するとともに、働き方改革に取り組んでいる。	3.05 B	・会議の持ち方が難しい。5時を回ってしまうことが多々あるので、どの部会も事前に資料を配付して目を通してもらうなどして時間短縮を図りたい。 ・声を掛け合って共有教材物の使用、校務分掌に従って共通理解し、実行がされている。 ・教育相談部会を開き、支援が必要な児童や家庭の情報を毎月・毎年引き継いでいく。 ・組織運営に関しては企画委員会が効果を発揮している。	B	・先生方の働き方改革について、勤務時間的には改善されつつあるようだ。 ・異動職員の多さが、よい伝統の継承につながっていないように思われる。 ・教職員のチームワークがよりよい環境を整えることになり、児童にも良い影響を与えることにつながると考える。運動会では教職員の連帯感が感じられた。
5	学校は、学校経営方針を具現化するために、学校評価の実施等を通じて改善計画を考え学校経営を行っている。	3.29 B	・こまめな連絡や指導が定期的にされているので意識化がなされている。 ・どんな学校経営方針を受けて、専科制を行っているのかを明確にしたい。	A	・まずは先生方に周知し、改善のための具体的な手を打つようにしていく。 ・「学校だより」では、学校の課題が明確に示されている。
6	学校は事故や不審者の侵入等の緊急事態発生時に適切に対応できるよう。危機管理マニュアル等を作成し、迅速に対応できる体制を整えている。	3.10 B	・実践的な研修がとてもよかった。 ・不審者侵入に対する訓練は有意義だった。警察の方が来てくださったのもよかった。 ・何度も何度も繰り返し訓練を行うことで、マニュアルに頼らず体が動くようにしていくことが大事。	B	・いざとなった時、どう動かが大事。(マニュアルがあっても動けるとは限らない。) ・実際に動く訓練は必要。机上の空論とならないように訓練や研修を積み重ねていって欲しい。

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
7	学校は、児童生徒が学習内容の理解を深めることができるよう、指導と評価の一体化を重視した授業を展開している。	3.33 B	・毎時間の補助簿の活用、ノート点検、単元終了時のゴールの姿を明確にするなどで評価に努めている。 ・児童の姿から自分の指導を振り返り、授業改善につなげていくように努める。	B	・指導と評価を意識して、引き続き授業改善に努めていって欲しい。
8	学校は、各教科の指導において「見方・考え方」を軸とした授業を展開し、資質・能力の三つの柱の育成に努めている。	3.29 B	・見方・考え方をどこまで意識できているか疑問。 ・各教科の資質能力の位置づけがあいまい ・学校研究と関連付けながら、教科の見方・考え方を踏まえ、資質・能力を育む学習指導の実践が見られた。	B	・校内研修を基盤として3つの柱の育成に努めて欲しい。
9	学校は学習指導要領や県編成要領、新座市指導の手引きに基づき、児童生徒の発達の段階や学力、能力に即した学習指導を行っている。	3.38 B	・研究主任を中心に、みんなで授業研究に取り組んでいる。	A	・学習指導要領、県編成要領等を咀嚼して指導力、授業力を向上して欲しい。
10	学校は、カリキュラムマネジメントを推進しsociety5.0を自在に生きる力を身に付けた児童生徒の育成に努めている。	3.05 B	・自身の理解不足のため、カリキュラムマネジメントのみ実行。 ・穴埋め式のペーパーテストの脱却(特に国語) ・society5.0を自在に生きる力を身に付けた児童を具体的にイメージするために学んでいきたい。	B	・コロナの影響で、柔軟な対応や臨機応変さが求められ、ロングスパンでの見通しは難しかったのではと考える。 ・ショートスパンでのPDACは適応していた。 ・Society5.0、カリキュラムマネジメントの理解をしなければならない。

評価項目「豊かな心の育成」

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
11	学校は、児童生徒が友達や教職員・来校者に進んであいさつをしたり、「です、ます」をつけるなど、場に応じた言葉遣いができるよう指導している。	3.38 B	・担任以外でも、その場にいた教師が、本人に気付かせたり、適切な言葉遣いに訂正させたりする指導が必要。 ・全職員共通認識で取り組んでいる。 ・友達や身近な教員への挨拶はしっかりできるが、来校者への挨拶をもう少し充実させたい。	A	・個人差がある。 ・「です、ます」を使用しているも相手を尊重する気持ち、認める気持ちがあるかどうかで本質が全く違ってくるので、表面的な状況だけで判断をしないで欲しい。 ・繰り返しの指導が必要。
12	学校は、児童生徒がいじめや意地悪な行為をすることなく、お互いの良さや努力を認め合って学校生活を送れるような環境を整備している。	3.57 A	・一部の児童が目立つが、日常の学級指導や行事などの取組により豊かな心は育っていると感じる。	A	・問題解決にあたる際、生徒指導主任が中心となり、担任が孤立しない体制になっているのがよい。
13	学校は教職員自らが手本となり、児童生徒に対して規律意識を高める指導を行っている。	3.38 B	・名札をつけない教員がいるのは残念。 ・忙しさもあってか、指導場面なのにスルーしていることもあるように思う。 ・教師の率先垂範、手本となる意識が大事。	A	・業間マラソン等先生方が率先して走っている。 ・いろいろな場面で、先生方が元気に率先垂範している姿を見かける。 ・教師間でも役割分担がなされているように見受けられた。(子供の中に入って指導にあたる人、俯瞰して指導に当たる人など)

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
14	学校は、児童生徒が体力向上に向け、体育や部活動・休み時間などにおいて意欲的に取り組めるよう指導に当たっている。	3.71 A	・業間休みに必ず外に出て遊ぶというルールが児童に徹底されていたり、パワーアップタイムなどが充実していたりして、体を動かす機会が多くていい。 ・ぼわーあつぷや業間マラソンなど意図的な取組が体力向上につながっている。	A	・昨年度の「体育科」の研究成果が見られる。 ・業間パワーアップの取組や外遊びの奨励、先生方の共に活動する姿勢が効果を上げている。 ・運動会はとても良かった。子供達のがんばっている様子が伝わってきた。
15	学校は、食に関する意識を高める食育に取り組むなど、計画的に健康教育を推進している。	3.43 A	・家庭との連携が必要。食育や保健の授業などを家庭に発信していく。	A	・自分の食べられる量を自分で理解できるようになって欲しい。 ・食に対する意識が高められるよう、引き続き指導をお願いしたい。

評価項目「保護者・地域との連携協力」

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
16	学校は、保護者や地域住民の意見を取り入れる機会を積極的に設け、学校に寄せられた具体的な要望や意見を把握し、適切に対応している。	3.38 B	・いろいろな方法で多くの人の意見を取り入れていこうとはしている。建設的な意見には適切に対処し、学校力の向上に生かしていきたいと思うが、教職員のやる気をそがれるような意見もあって残念に思う。	A	・保護者アンケートを取り、意見を取り入れようとしている。
17	学校は、学校だよりやホームページなどで、教育活動の様子や成果・課題などについて定期的に情報提供している。	3.67 A	・スクールメールやホームページを定期的に更新しているので、保護者の方が学校の様子を知ることができていい。	A	・学校だよりからは、校長の方針や考えがわかりやすく、伝わってくる。 ・子供達の作品が紹介されているのはよい。
18	学校は、コミュニティースクールと地域学校協働活動の一体的推進により、社会に開かれた教育課程の編成・実施を行っている。	3.24 B	・コロナ禍において一体的な推進には難しさを感じている。 ・学校は開かれているが、教育課程が開かれているかは疑問。	A	・地域の応援があつての学校。「開かれた学校」には地域の理解が必要。発信の仕方は課題。 ・学校に協力したいと思っている地域の方がいるのは確か。関わって欲しい細目を協議会で情報収集して提示してもらってはどうか。